

ドイツの歴史と伝統を今に引き継ぐ  
ドイツ名門オーケストラで聴く究極の名曲集

Berliner Symphoniker

# ベルリン交響楽団

Lior 指揮者  
Shambadal リオール・シャンバダール

山口公演

2018年6月30日(土)  
16:00開場 17:00開演  
山口市市民会館 大ホール

ラヴェル 亡き王女のためのパヴァーヌ  
シベリウス 交響詩「フィンランディア」op.26  
ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調「皇帝」op.73  
チャイコフスキー 交響曲 第5番 ホ短調 op.64

ラフマニノフ国際コンクール  
優勝に輝くピアノ界の至宝!!

ソリスト  
エフゲニー・ミハイロフ(ピアノ)

Eugeni  
Mikhailou



料金 (全席指定) [一般] S席 7,000円(税込)  
A席 6,000円(税込)  
25歳以下は各半額

発売日 any会員 3月11日(日)10:00~

一般 3月18日(日)10:00~

[プレイガイド]

[山口] 山口市市民会館 (TEL083-923-1000)

山口情報芸術センター

<山口市文化振興財団チケットインフォメーション>

(TEL083-920-6111 <http://www.ycfcp.or.jp/>)

山口井筒屋 (4F)、三好屋レコード店

[防府] アスビラート [宇部] 宇部井筒屋 (4F)、宇部市文化会館

チケットぴあ (0570-02-9999 / Pコード108-872)

ローソンチケット (0570-084-006 / Lコード62269)

## ストラディヴァリウスセット割引

「ストラディヴァリウス・サミット・コンサート(山口公演)」と「ベルリン交響楽団」のチケットを同時にお買い上げのお客様は「ベルリン交響楽団」のチケットが半額になります。  
※取り扱いは山口市市民会館、山口情報芸術センター(山口市文化振興財団チケットインフォメーション)のみ。販売は6月1日(金)まで。

## ストラディヴァリウス・サミット・コンサート2018(山口公演)

6月2日(土) 16:00開演 会場:山口市市民会館 大ホール  
[料金] 全席指定:一般5席7,000円/A席6,000円/B席5,000円  
※25歳以下は各半額 ※当日券は各500円増  
[チケット発売] ベルリン交響楽団 山口公演同時発売

※any会員は一般料金より各500円割引  
(※前売のみ・1会員につき4枚まで購入可能)  
※any会員割引は、山口市市民会館・山口情報芸術センターのみ取り扱い  
※当日券は各500円増  
※未就学児の入場不可  
※託児あり(※1人700円(2人目以降500円)、6月23日(土)までに要申込)

お問い合わせ 山口市市民会館 TEL083-923-1000 財団チケットインフォ TEL083-920-6111

[主催] 山口市、(公財)山口市文化振興財団  
[後援] 山口市教育委員会、fqs テレビ山口株式会社、山口市エフエム山



# ベルリン交響楽団

## 山口公演



### リオール・シャンバダール(指揮)

1950年テル・アヴィヴに生まれ、幼少よりヴィオラ、作曲、指揮を学ぶ。その後イスラエルを離れ、ザルツブルクやウィーンでハンス・スワロフスキーに、イタリアではフランコ・フェラーラやカルロ・マリア・ジュリーニ各氏に師事。さらに現代音楽や作曲にも興味を持ち、パリでヴィトルド・ルトスワフスキのもとで研鑽を積む。

これまでに、イスラエルのハイファ交響楽団首席指揮者、テル・アヴィヴ室内オーケストラ音楽監督、ドイツのカイザースラウテルン歌劇場の音楽総監督、スロヴェニア放送交響楽団首席指揮者などを歴任。1997年ベルリン交響楽団の首席指揮者に就任。

ベルリン交響楽団とともに、「ベルリン・フィルハーモニーホール」において定期公演を行ない、欧米をはじめ世界各地で公演旅行を行なう他、ベルリンにおいて数多くのCDやテレビ番組をプロデュースしている。

客演指揮者として共演したオーケストラは、イスラエル・フィル、バイエルン放送交響楽団、ケルン放送交響楽団、ミュンヘン・フィル、バンベルク交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団、ロイヤル・フランダース・フィル、フィレンツェ五月祭管弦楽団、フェニーチェ歌劇場、デンマーク放送交響楽団をはじめ、ロシア、北中米、アジア各国のオーケストラなど、この数年でも枚挙に暇がない。

音楽に対する誠実な姿勢と身体から迸る情熱で聴衆を魅了。2002年以來8度に及ぶ日本公演では、各地で絶賛を博す。

## ベルリン交響楽団

～音楽の街ベルリンで愛され続けるオーケストラ～

ベルリン交響楽団(Berliner Symphoniker)は1966年、東西に分かれていた当時の西ベルリンにおいて、既に東ベルリンに創設されていた「ベルリン交響楽団(Berliner Sinfonie-Orchester)/現在のベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団」と対になる形で設立され、音楽の街ベルリンにおいて半世紀にわたり、市民に愛され続けてきました。

ベルリン・フィルハーモニーホールでの定期公演は、現代作品も積極的に取り上げる一方、モーツァルト、ベートーヴェン、ブラームス、メンデルスゾーンなど古典の交響曲をプログラムのメインに据え、入念に鍛えられた演奏により、耳の肥えた聴衆を増やしています。また定期公演のほかに、ベルリン音楽アカデミーと共同で様々な教育的プログラムを実施するなど、「市民のためのオーケストラ」としての存在も際立たせてきました。

1997年、首席指揮者に就任したりオール・シャンバダールは、全身全霊で挑むその熱い演奏で聴衆との垣根を取り除き、会場全体が一体となるような臨場感を生み出し多くのファンを獲得しています。また海外ツアーやレコーディングなど精力的に活動の場を広げており、ベルリンでの音楽祭は勿論のことロンドン・プロムス、エディンバラ、イスタンブール、フランダース、カイロなど世界の主要な音楽祭に参加するなど、ベルリン交響楽団の新時代を築き上げました。

日本では2002年10月の初来日以来、その実力を遺憾なく発揮し毎回好評を博してきました。

今回、期待に応えて9度目の来日を果たします。

### エフゲニー・ミハイロフ(ピアノ)



ロシアのピアニスト、エフゲニー・ミハイロフは1995年スクリャーピン国際ピアノ・コンクール、1996年G.エリクソン国際ピアノ・コンクールにおいて、審査員と聴衆、満場一致で優勝。2002年ラフマニノフ国際ピアノ・コンクールにおいて優勝。ヨーロッパの主要メディアにおいて絶賛を博すミハイロフは、南米やアメリカから中国、アフリカに至るまで500回を超える海外公演を行っている。またベルリン・フィルハーモニー、ミラノ・オーデトリウム、ロンドンのセント・マーティン・イン・ザ・フィールズ、モスクワ音楽院大ホール、ニューヨークのスタインウェイホール等主要なホールに登場。国際音楽祭も[スイスの「ルツェルン国際音楽週間」]、[ノルウェーの「ベルゲン国際フェスティバル」]、[ロシアの「クレムリン音楽祭」]の他、オーストリアやスウェーデンの音楽祭に定期的に参加している。オーケストラではベルリン・ドイツ交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、ロシア・ナショナル管弦楽団、サンクトペテルブルク・フィル等に招かれる。指揮者では、ウラディーミル・アシュケナージ、ミハイロ・プレトニョフ、サウリュス・ソンデツキス、ジョゼップ・カバリエドメネク等の名匠と共演。ミハイロフは数多くの国内及び国際ピアノ・コンクールの審査員を担当する他、世界の主要都市でセミナーやマスタークラスを受け持っている。

「この若者は今日では類稀な特長を持つ。ピアノと向き合う彼は、知的で洗練されている。」[ニコライ・ペトロフ]

「彼はとても才能豊かな人物である。コンクールにおいて最も優れ、卓越した演奏をし、またとても良く練習をしていた。」[ウラディーミル・アシュケナージ]

「エフゲニー・ミハイロフは繊細で抒情的な資質を持つ。特にピアノにおいて幅広い音色を持ち、音楽づくりのセンスは完璧で、演奏は常に図抜けている。」[ミハイロ・ヴォスクレセンスキー]